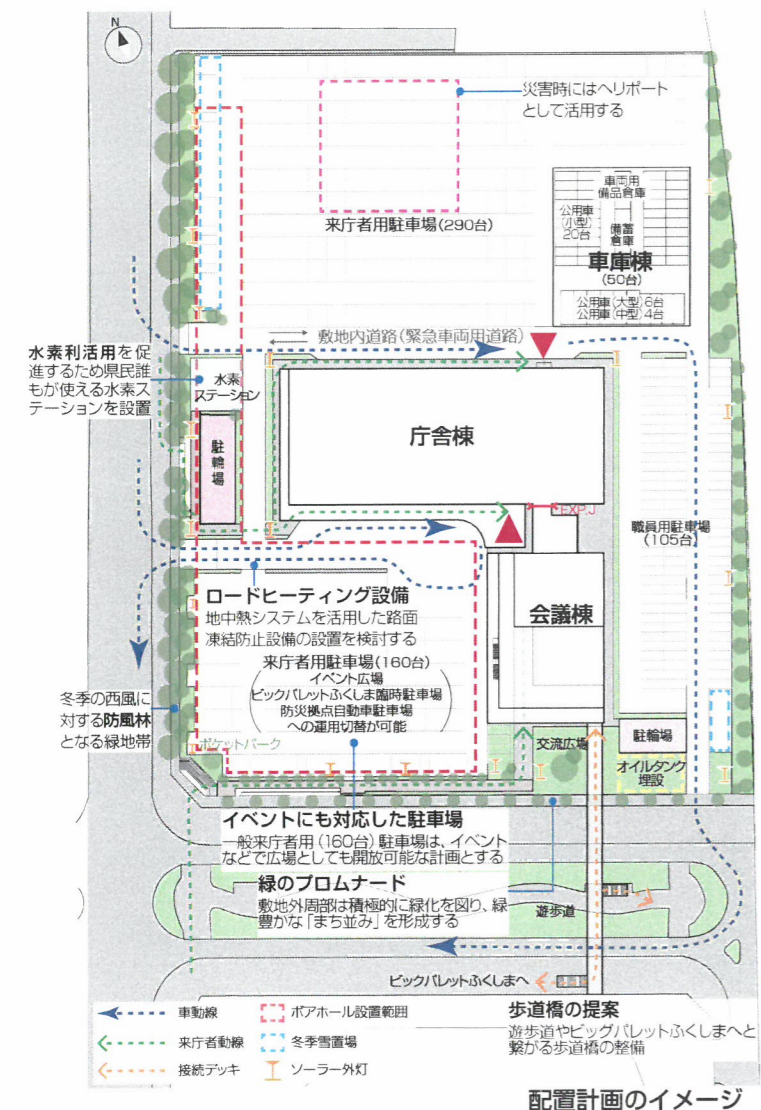


(1) 県民の利便性向上及び快適な執務空間の確保に関する提案

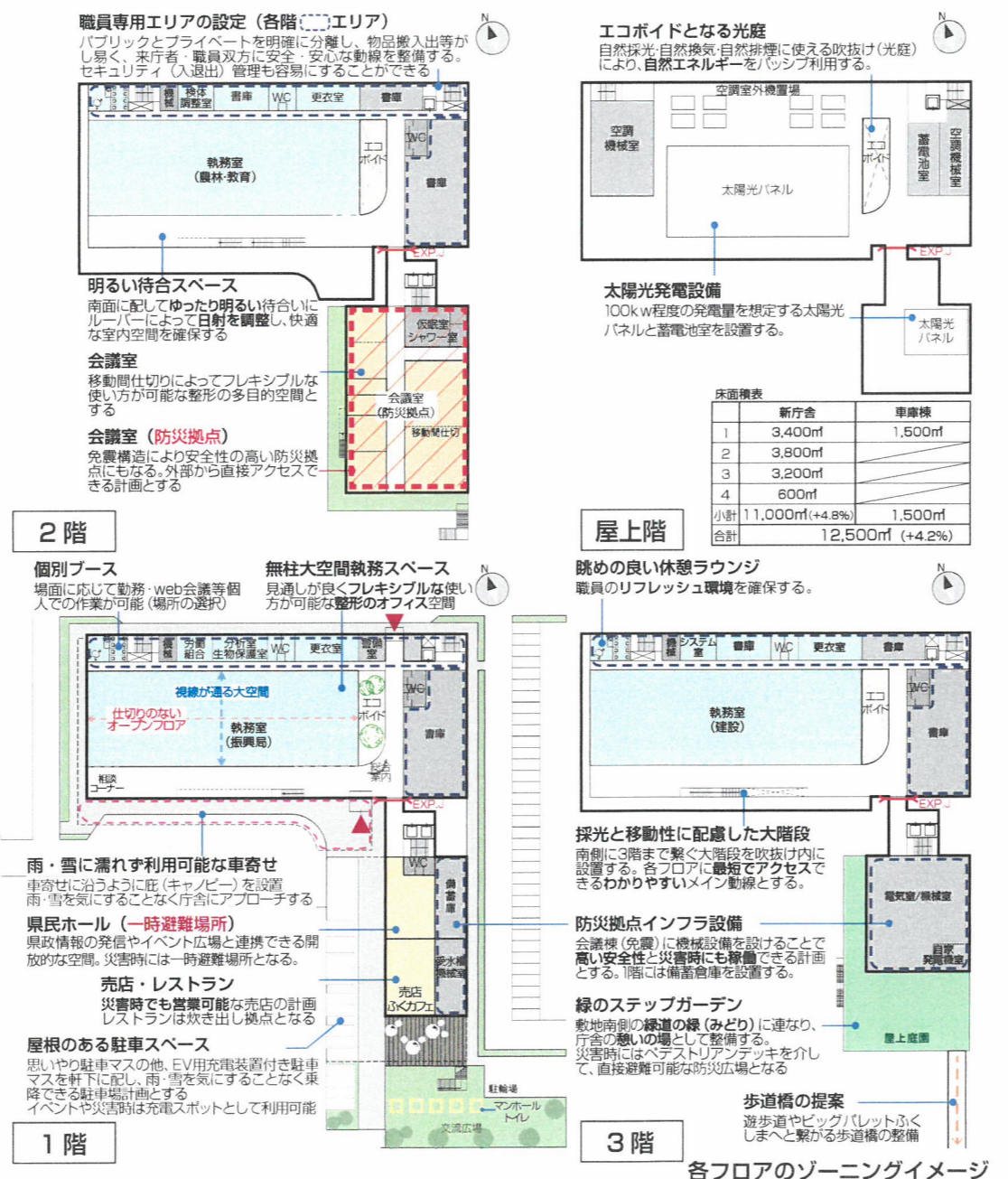
■ 駐車場を活かした多様な運用を実現する配置計画

- 来庁舎用駐車場 450 台を敷地の南側と北側に分けて配置し、南北の両側に車寄せと建物出入口を計画することで、各駐車場から最短の距離で建物の玄関にアクセス可能な計画とします。車両出入口は南北の2ルート設けることで、車両の流れを分散し、混雑の少ないスムーズな運用を実現します。
- 南側駐車場はビッグパレットふくしまの利用者も駐車しやすい位置で計画します。通常は来庁舎用のメイン駐車場として機能し、合同庁舎のイベント広場や、ビッグパレットふくしまでのイベント臨時駐車場、災害時の防災拠点自動車駐車場への運用切替をあらかじめ想定し、その際は北側駐車場を来庁舎専用の扱いで運用出来る配置とすることで、それぞれの利用者の動線が不用意に交錯しない計画とします。
- 北側駐車場は災害時ヘリポートとしての運用を想定し、車庫棟内備蓄倉庫と連携した災害時対応が可能な配置とします。
- 歩行者の動線は敷地西側と南側の2ルートを想定し、歩道に面して防風林の役割を持つ樹木帯を形成します。
- 敷地南側には交流広場を計画し、遊歩道と合わせて一体的な緑地空間を形成します。ビッグパレットふくしまへと繋がる歩道橋を整備することで、地域一体での利用が促進されます。



■ 快適な執務空間を実現するゾーニング計画

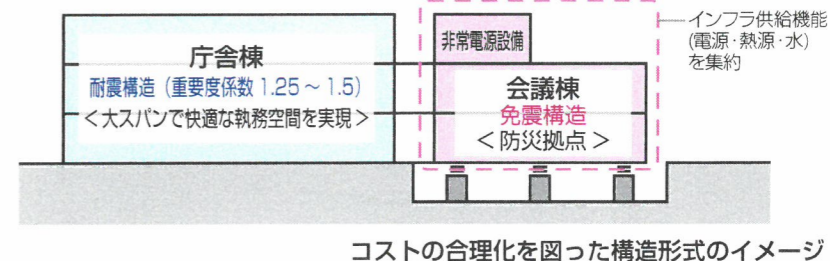
- 執務空間となる庁舎棟は、プレストレストを加えた大梁を用いることで、短辺約 22m×長辺約 56mの無柱空間とし、どこまでも見通しが良く、自由なレイアウトが可能な執務空間を実現します。
- 庁舎棟は東西に長い建物ボリュームとすることで、南側に面した執務空間を広く確保することができ、一年を通して自然光による豊かな採光が可能な計画とします。
- 建物中央部には光や風の通り道となるエコポイド（光庭）を計画し、来庁者を光豊かな空間で出迎えると共に、煙突効果により建物内の自然換気が行える計画とします。
- 書庫は東側に配置し、執務空間とは北側のスタッフ専用廊下にて接続します。書庫に隣接してスタッフ用 EV を配置することで、書類のスムーズな運搬が可能な計画とします。
- 執務空間となる庁舎棟に対して、会議やアメニティの場として地域にも開かれ、災害時には防災拠点としての役割をもつ会議棟を南側に計画します。1階は県民ホールに売店やレストランが隣接した構成とし、誰もが自由に利用できるエリアとします。2階は会議室が機能的に配置され、移動間仕切による分割等、会議規模によってフレキシブルに運用可能な計画とします。会議室は地域への貸出も想定した動線計画とします。



(2) 県民の安全・安心の拠点となる庁舎のあり方に関する提案

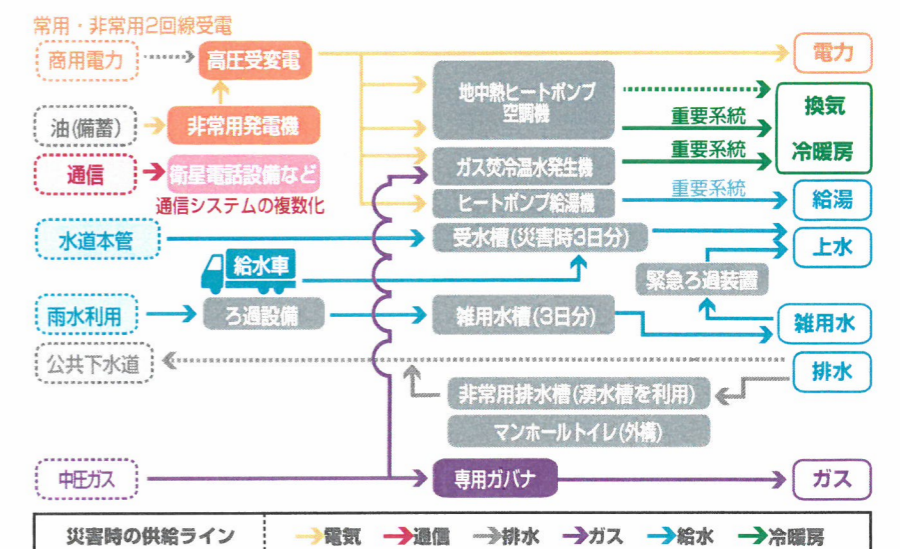
■ 免震と耐震を使い分けた合理的な構造計画

- 会議棟は災害時には防災拠点となることから、大地震時に対して影響を受けない最も安全なエリアを確保するため、免震構造を採用します。それに対して庁舎棟は耐震構造(重要度係数 1.25 ~ 1.5 の範囲で検討)を選択し、建物用途の重要度に合わせた構造形式の選択によりコストの合理化を図ります。
- 免震構造である会議棟には、非常電源設備や水槽等を備えることで、防災拠点に必要なインフラ供給を確実に実行する計画とします。
- 1階の県民ホールは災害時のトリアージ空間や、帰宅困難者の受け入れ空間としての運用も想定し、災害時のインフラを整えます。また、売店・レストランは災害時の備蓄機能を兼ねる計画とします。
- 来庁者用 EV 及び階段は、免震構造である会議棟側に含めて計画することで、会議棟を防災拠点として運用する際に、安全に利用できる縦動線を確実に確保します。



■ 防災拠点に必要なインフラ機能の整備

- 商用電力の途絶対策として、2回線受電の実施や、停電時にも72時間の事業継続が可能な空冷式自家発電設備や直流電源設備の設置を行う計画とします。
- 通信設備の途絶対策として、光ケーブルに加えてメタルケーブルの引込検討や、異なる通信事業者の通信線を引込を行う計画とします。
- 受水槽や雨水貯留槽を活用し、3日分の水源を確保します。
- 本地域では災害時でも供給可能な中圧ガスの利用が可能であるため、電気とガスの両方が使用可能なガス焚冷温水発生機を採用します。



今回施設における災害時のインフラ確保の考え方

**(3) 人にやさしく、環境に配慮した庁舎のあり方に関する提案**

**すべての人にやさしいユニバーサルデザイン**

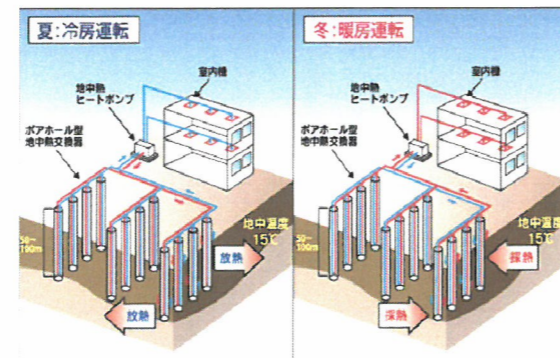
- ウェイファインディングシステムの考えを取入れた**明快な動線計画**と**視線の誘導による空間構成**を行い、言語のみに頼らずに目的の場所へ自然に導くことのできる計画を行います。
- サインは**国際シンボルの利用**や**多言語化**に対応するだけでなく、環境音によるサインや、**デジタルサイネージ**を活用した**インタラクティブな案内**が行える計画とします。サイン設置高さについても、高齢者や車椅子の目線でも読みやすい高さとなるよう配慮します。
- 水廻り空間では、妊娠中や子育て中の方、高齢者や LGBT の方等、**全ての人**が**気を遣わずに不自由なく利用**して頂けるよう、必要設備や十分な広さを備えた**誰でもトイレ**を整備します。



ユニバーサルデザインに配慮した計画例

**気候特性と敷地条件を活かした環境に配慮した計画**

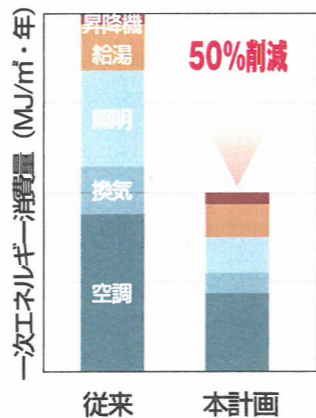
- 西側からの季節風の影響を避けるため、西面の開口部を最小限とし、建物への主入口は南側及び北側とします。また、スタッフ用出入口は職員駐車場に面した東側とします。
- 広い敷地であることを活かし、**地中熱利用システム**を採用します。敷地内に地中熱利用ボアホールを約200本設置することで必要な熱源容量の約4割を地中熱利用システムで賄うことが可能です。
- 雪国であることを考慮し、**積雪のない底空間の形成**、**氷柱や路面凍結の生じにくい設え**、**除雪時の雪置場確保**といった事柄に配慮して設計を行います。



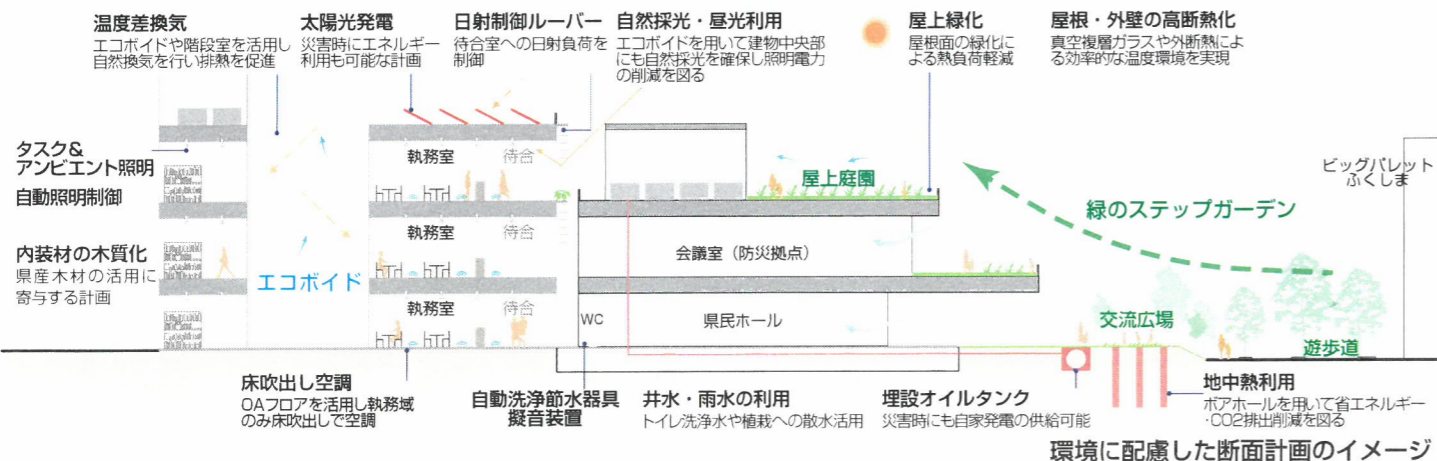
地中熱を利用した空調設備のイメージ

**ZEB ready を実現する環境配慮型施設**

- 外壁と屋根面を高断熱化し、主要な採光面となる南側に日射制御ルーバーを設置する建築計画的手法（パッシブ手法）により**建築外皮の省エネルギー性能**を最大限向上させます。その上で、自動照明制御や節水器具といった**高効率設備**や、太陽光発電等の**創エネ設備**を用いた設計手法により、過大になりがちな設備容量のコンパクト化を図り、従来に比べ**建物の消費エネルギーを50%削減**を実現します。補助金の取得も視野に入れ、**ZEB ready**を達成し、Nearby ZEBも目指せる計画を行います。
- 庁舎棟の屋上には南面に面して最大効率となる角度で太陽光パネルを設置することで、**年間100,000kwhの電力量発電**が可能な計画とします。
- スマホやiPadで個別に細かい照明調光制御が出来るシステムを取入れる等、エネルギー利用率の見える化と必要に応じたエネルギーコントロールを可能にすることで、**利用者自らが省エネルギー対策に取組やすい計画**とします。
- 夏場のクールビズ時期の快適性を向上するため、デシカント空調により除湿を組み合わせた空調制御を行います。



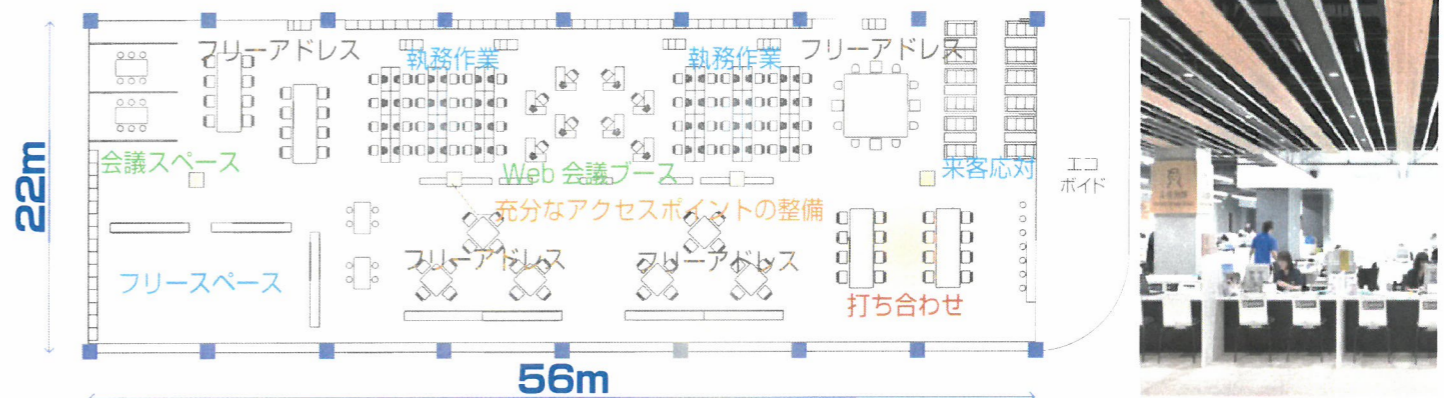
消費エネルギー削減イメージ



**(4) 社会環境の変化に対応できる庁舎のあり方に関する提案**

**ニーズの変化に対応できる執務空間の提案**

- 働き方改革やDXが進むことで、執務空間はこれまで以上に多様化し、部署間を超えた活発なコミュニケーションの推進、来庁者との円滑な対応、Web会議への対応等、状況に応じた家具レイアウトの変化対応が求められます。**大スパン構造**により**22m×56mの無柱空間**を確保し、**OAフロア化**による**自由な電源ルート**や、**5Gに対応した無線通信設備**に対応、**床吹き出し空調**による**天井レス設計**を組み合わせることで、**レイアウトの制約がなく、自由な働き方**に対応できる計画とします。



**ウィズコロナに対応した安全安心な施設づくり**

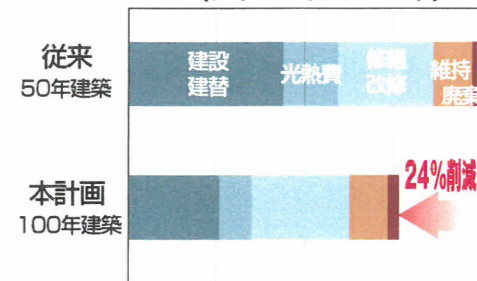
- 来庁者や職員の感染リスクを低減するため、手で直接振れる必要のあるボタンは極力無くし、非接触のEVボタンやフットハンドル・フットセンサーによる扉を取り入れます。また、共用トイレは迷路型の出入口とし、待合室はオープンスペース化するなど、扉に触れる機会を少なくする配慮を行います。
- 手摺やドアハンドル、内装仕上材については**抗菌・抗ウイルス性が付与された建材**を積極的に採用します。
- エコポイド（光庭）を利用した自然換気や、換気スリット付き窓の採用、システムによる強制換気等、**施設内の換気性能向上に配慮**した計画を行います。



**維持管理の容易な施設づくりとLCC(ライフサイクルコスト)の削減**

- 長期耐久性を確保した構造躯体強度と、30年周期の設備更新を想定した設計により、建築物として**100年庁舎を実現**します。
- 建設費だけでなく、100年を通じたエネルギー消費や維持管理・更新・修繕費を総合的に検討し、従来より**LCCの24%削減**を目指します。
- 設備配管の縦シャフト（PS・DS・EPS）は建物モジュールに合わせた分散配置を行い、将来の内部改修時に周囲の道連れ改修が起きにくい**設備計画**とします。
- 親水性塗料やノンワックス床材など、**耐候性が高くメンテナンスフリーな仕上建材**を積極的に採用します。

LCC(ライフサイクルコスト)



ライフサイクルコスト削減のイメージ

**ビックパレットふくしまへと繋がる歩道橋の提案**

- これからの社会環境の変化への対応を地域単位で行うためには、合同庁舎利用者とビックパレットふくしま利用者が**相互に施設を利活用**し、**地域一体の活性化に寄与する空間づくり**を目指すことが重要と考えます。
- 敷地南側には県民に開かれた交流広場を計画し、3階には屋上庭園を計画します。そして、敷地外の遊歩道やビックパレットふくしまへと繋がる歩道橋を架けることを提案します。屋上庭園～交流広場～遊歩道～ビックパレットふくしまが立体的に接続され、**地域に開かれた緑のステップアップガーデン**が形成されます。

